

平成22年度 全国学力・学習状況調査結果の米子市の概要について

米子市教育委員会 学校教育課

平成22年4月20日に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査結果について、本市の概要をお知らせします。なお、米子市では全ての米子市(学校組合)立小・中・特別支援学校が本調査に参加しています。

1 全国の状況

○今回の調査は、問題数等が前回までの調査とは異なっており単純な比較はできませんが、全体的な傾向は前年度の結果と同様の傾向を示しています。

2 米子市の状況

(1)教科の概要

<小学校6年生>

国語:全体では、全国平均を上回っており、おおむね良好な状況でした。

- ・知識の習得については、全国平均を上回る平均正答率となっています。
- ・知識の活用については、「読むこと」と「言語事項」の領域で、全国平均をやや下回る状況となっています。

算数:全体では、全国平均をやや下回る状況でした。

- ・「量と測定」と「数量関係」の領域で、知識の習得及び活用について全国平均を上回る状況となっています。
- ・「数と計算」と「図形」の領域で、知識の習得及び活用に課題が見られました。
- ・主として「知識」に関する問題において、全国平均と比べて無解答率が高い問題がありました。

【国語A】(主として「知識」に関する問題)

区分	国語A	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		84.6(B)	85.8	83.3
領域	話すこと・聞くこと	85.3(B)	87.0	83.2
	書くこと	70.4(B)	70.0	67.7
	読むこと	76.7(B)	77.2	74.1
	言語事項	86.7(B)	88.0	85.8

【国語B】(主として「活用」に関する問題)

区分	国語B	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		78.7(B)	81.0	77.8
領域	話すこと・聞くこと	77.4(B)	78.6	75.4
	書くこと	94.0(B)	94.1	91.6
	読むこと	72.4(C)	76.9	73.4
	言語事項	71.7(C)	77.5	73.0

【算数A】(主として「知識」に関する問題)

区分	算数A	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		73.4(C)	76.5	74.2
領域	数と計算	72.1(C)	74.7	74.1
	量と測定	74.9(B)	77.7	74.1
	図形	82.1(C)	84.6	83.1
	数量関係	65.8(B)	71.0	65.7

【算数B】(主として「活用」に関する問題)

区分	算数B	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		48.9(C)	51.4	49.3
領域	数と計算	55.1(C)	57.4	55.8
	量と測定	34.9(B)	38.5	33.3
	図形	41.0(C)	43.9	42.0
	数量関係	54.5(B)	56.6	54.3

* 米子市の平均正答率は、全国平均との差が+3%以上をA、+3%を下回り0%までをB、0%を下回り-3%までをC、-3%を下回るものをDで表記しています。

〈中学校3年生〉

国語:全体では、全国平均を上回っており、良好な状況でした。

- ・知識の習得については、全ての領域において非常に良好な状況となっています。
- ・基礎・基本はほぼ定着しており、今後は習得した知識を活用する力をさらに伸ばす必要があります。

数学:全体では、全国平均を上回っており、おおむね良好な状況でした。

- ・「数量関係」の領域については、知識の習得及び活用する力ともに良好な状況です。
- ・基礎・基本はほぼ定着しており、今後は習得した知識を活用する力をさらに伸ばす必要があります。

【国語A】(主として「知識」に関する問題)

区分	国語A	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		78.2(A)	77.1	75.1
領域	話すこと・聞くこと	78.0(A)	76.4	74.2
	書くこと	77.3(A)	74.1	71.1
	読むこと	79.9(A)	77.6	76.6
	言語事項	77.7(B)	78.0	75.8

【国語B】(主として「活用」に関する問題)

区分	国語B	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		66.9(B)	67.1	65.3
領域	話すこと・聞くこと	46.4(B)	48.1	45.6
	書くこと	62.7(B)	62.8	60.2
	読むこと	69.2(B)	69.2	67.5

【数学A】(主として「知識」に関する問題)

区分	数学A	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		66.9(B)	66.1	64.6
領域	数と式	75.8(B)	76.3	75.2
	図形	66.4(B)	65.7	64.3
	数量関係	58.5(A)	56.4	54.3

【数学B】(主として「活用」に関する問題)

区分	数学B	平均正答率(%)		
		米子市	県	全国
全体		45.4(B)	44.5	43.3
領域	数と式	44.1(B)	44.0	43.2
	図形	42.3(B)	41.2	40.2
	数量関係	48.3(B)	47.0	45.5

* 米子市の平均正答率は、全国平均との差が+3%以上をA、+3%を下回り0%までをB、0%を下回り-3%までをC、-3%を下回るものをDで表記しています。

(2)今年度の中学校3年生における平成19年度(小学校6年生時)と平成22年度(中学校3年生時)の平均正答率の比較

平成19年度(小学校6年生時)の平均正答率			
	米子市	全国	差(米子市-全国)
国語A	84.4	81.7	+2.7
国語B	64.0	62.0	+2.0
算数A	83.2	82.1	+1.1
算数B	65.0	63.6	+1.4



平成22年度(中学校3年生時)の平均正答率			
	米子市	全国	差(米子市-全国)
国語A	78.2	75.1	+3.1
国語B	66.9	65.3	+1.6
数学A	66.9	64.6	+2.3
数学B	45.4	43.3	+2.1

主な傾向

○平成19年度(小学校6年生時)及び平成22年度(中学3年生時)ともに、全国平均を1.1%~3.1%上回っており、おおむね良好な状態を維持していたといえます。

○平均正答率の全国との差が、平成19年度から平成22年度へ向けて、国語Bをのぞいて0.4%~1.2%の伸びがあり、特に算数・数学においては、知識の習得、活用とも着実に力がついています。

(3)子どもたちの学習や生活の様子 — 児童生徒質問紙調査より —

<小学校6年生>

米子市の小学校6年生は、

- ・ほとんどの児童が朝7時までに起きて、朝食を毎日食べている。
- ・読書が好きで、国語の勉強も好きである。
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が低い。
- ・(4年間の調査で)家で学校の宿題、授業の予習・復習をする児童の割合が増加している。
- ・算数の授業の内容がよく分かると回答した児童の割合が低い。
- ・総合的な学習の時間の勉強が好きな児童の割合が低い。
- ・携帯電話での通話やメールはほとんどしない児童が多い。
- ・学校のきまりを守っている。また、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。

<中学校3年生>

米子市の中学校3年生は、

- ・早起きは苦手だが、朝食もきちんと食べ、夕食も家の人と一緒に食べている。
- ・読書が好きな生徒が多く、学校図書館へ週1回以上行っている生徒の割合も高い。
- ・(4年間の調査で)家で学校の宿題、授業の予習・復習をする生徒の割合が増加している。
- ・自分の将来の夢や目標を持っている生徒の割合が低い。
- ・数学の授業の内容はよく分かると回答した生徒の割合が低い。
- ・学校の規則を守っている。また、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。

【全国と米子市との比較で特徴的な評価項目】

肯定的な評価項目(全国との差が+5%以上)	
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話を持っていない。携帯電話で通話やメールを全く、または、ほとんどしていない。【+7.5】 ・家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日に10分以上読書をしている。【+5.6】 ・学校図書館や地域の図書館へ週1回以上行っている。【+13.5】 ・地域の行事に参加している。【+10.7】
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・普段(月～金曜日)、8時間以上の睡眠時間をとっている。【+8.1】 ・携帯電話を持っていない。携帯電話で通話やメールを全く、または、ほとんどしていない。【+10.1】 ・家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日に10分以上読書をしている。【+6.7】 ・学校図書館や地域の図書館に週1回以上行っている。【+11.2】 ・普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。【+10.5】 ・普段の授業で学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。【+12.5】

否定的な評価項目(全国との差が-5%以上)	
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以上勉強している。【-10.2】 ・家で自分で計画を立てて勉強している。【-5.2】
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・普段(月～金曜日)、7時までに起きる。【-21.4】 ・学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。【-5.7】 ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。【-7.2】 ・将来の夢や目標を持っていますか。【-5.4】 ・普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか。(1時間以内)【-7.8】 ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(2時間以上勉強している)【-8.5】 ・家で学校の宿題をしていますか。【-5.1】 ・家で学校の授業の予習をしていますか。【-5.5】 ・家で学校の授業の復習をしていますか。【-7.3】 ・あなたの学級では、学級の友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか。【-9.7】 ・「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか。【-12.8】 ・数学の授業の内容はよく分かりますか。【-6.5】 ・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。【-5.5】

3 結果を受けて

<学校では>

<小学校6年生>

- 算数の基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や活用する力をさらに伸ばしていく必要があります。
 - ・個別指導や繰り返し指導, 学習内容の習熟の程度に応じた指導など個に応じた指導を充実する必要があります。
- 習得した知識を活用する力を伸ばすために, 問題解決的な学習や学習したことを生活の中で活用するなどの指導の工夫が求められます。

<中学校3年生>

- 国語・数学の基礎的・基本的な知識・技能の習得についての指導の成果が現れてきました。また, 授業で自分の考えを発表する機会を与え, 話し合い活動を多く行うことが, 生徒の学習意欲を高めています。このような取組は, 引き続き行う必要があります。
- 今後も習得した知識を活用する力を伸ばすための取組が必要であり, 全教科にわたっての取組も求められます。

<小・中学校共通>

- 保護者と連携して, 学習習慣や基本的な生活習慣の確立に努める必要があります。
- 今年度調査でも, 米子市の各学校で重点的な取組が進められている読書活動や図書館教育の成果が見られました。今後も, 本市の特色ある教育としてこの取組を継続していく必要があります。

<家庭では>

児童生徒の家庭学習の習慣が徐々に身につけてきている状況が伺えるなど、年々好ましい傾向も現れてきています。さらに児童生徒の学力の定着を図るために、以下のような取組をお願いします。

- 基本的な生活習慣を身につけさせましょう。
 - ・あいさつや食事, 睡眠, 起床時間など規則正しい生活リズムを身につけると, 子どもの本来持っている力が高まります。
- 家庭で主体的に学習する習慣を身につけさせましょう。
 - ・日々, 家庭で学習することが, 学力向上につながります。
 - ・小学生は, 学年段階に応じて宿題や授業の予習・復習などに主体的に取り組むことで, 中学生は, 日々家庭で計画を立てて主体的に学習することで, 幅広い学力が定着します。
- 日常生活の中で社会のルールやマナーを身につけさせましょう。
 - ・思いやりの心や社会性などの豊かな心を育むことができます。
- 家庭での読書を勧めましょう。
- 地域の行事に積極的に参加させたり, 郷土の自然や文化にふれる体験をさせましょう。

4年間の調査結果から, 引き続き、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ, 知識の活用を図る指導の充実が大切であることがわかりました。

米子市教育委員会としましては, この4年間の調査結果と他の調査結果を関連させて考察した上で, 今後の学力向上に向けた具体的な改善に, さらに取り組んでいきます。

また, 学習習慣や生活習慣の確立が学力の定着に極めて重要ですので, 今後さらに学校と家庭とが連携する取組を進めていきます。